

認定こども園〇〇〇園(保育所共通) 月間指導計画 0歳児4月

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人のありのままの姿や家庭での生活リズムを受け入れ、ゆったりと安心して過ごせるようにする。 ●特定の保育教諭(保育士)等が関わり、欲求に応じて抱いたり、あやしったり、生活の介助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭(保育士)等とのふれあい、関わりを通して安心感をもちながら、情緒の安定を図り、信頼関係を築く。 ●新しい環境に少しずつ慣れ、落ち着いた気持ちで過ごす。
-----	--	---

名前(月齢)	ゆうとくん(2か月)	えみりちゃん(5か月)	しおりちゃん(1歳)	配慮すべき事項
月初めの子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ●1回の授乳量が少なく時間がかかり、むせることが多い。 ●眠りが浅く、抱っこそのままだと眠ることができる。 ●空腹や排泄があると泣いて知らせる。 ●保育教諭(保育士)等の呼びかけや語りかけに顔を動かして反応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仰向けからの寝返りができ、体をひねって活発に動かそうとする。 ●授乳の間隔や哺乳状態が安定しており、必要なミルクの量の摂取ができています。空腹が満たされているので睡眠も安定している。 ●目の前の物に手を伸ばし、掴んで振ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●慣れない環境で不安になり泣くことが多く、特定の保育教諭(保育士)等から離れられず、遊びの機会が少ない。 ●保育教諭(保育士)等と1対1の環境であれば、伝い歩きやハイハイなどの動きが少しみられる。 ●咀嚼する力が弱く、口へ取り込む食事の量も少ないため、食事が増えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の発達状態・既往歴を把握し、保育教諭(保育士)等と共通認識をもち、必要な関わりができるようにする。 ●保育室外へ出ること、気分転換を図り、新しい環境に少しずつ慣れていけるようにする。 ●新しい環境や母子分離による不安や寂しさを素直に表してもよい雰囲気にする。
■養護(生命の保持・情緒の安定)	<ul style="list-style-type: none"> ■落ち着いた環境の中で生理的欲求を満たし、安心して眠れるようにする。 ■特定の保育教諭(保育士)等との関わりを行うことで、情緒的に安定して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ■授乳量やリズムが安定し、目覚めているときも機嫌よく過ごせるようにする。 ■喃語や動きに優しく応答されながら、安心感をもてるようにする。 	■養護(生命の保持・情緒の安定)	<ul style="list-style-type: none"> ■特定の保育教諭(保育士)等が十分に関わりをもつことで、安心できる空間を増やし、新しい環境に少しずつ慣れるようにする。 ■生活リズムが安定するよう、子どもの状態に合わせて朝寝を取り入れ、体の負担を取り除いていく。
★教育(三つの視点)	<ul style="list-style-type: none"> ★特定の保育教諭(保育士)等にゆったりと授乳してもらったり、おむつを交換してもらい、安心して過ごす。 ★色鮮やかな柔らかい布や音の出る玩具などで相手をしてもらいながら遊ぶ。 ★泣くことや喃語で欲求を表し、保育教諭(保育士)等に受け止めてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★腹這いで遊ぶときは姿勢が安定し、玩具に手を伸ばすなど体を動かして遊ぼうとする。 ★表情や喃語で保育教諭(保育士)等と関わりをもち、受け止めてもらう嬉しさを味わう。 ★静かな環境の中、見守られ安心して眠ることができる。 	★教育(5領域)	<ul style="list-style-type: none"> ★十分な休息を取ることで、機嫌のよい時間を増やしていく。 ★十分に伝い歩かし、歩行への意欲を育む。 ★身近にあるものに少しずつ興味を持ち、自ら近づいたり手を伸ばしていく。
■環境構成★援助	<ul style="list-style-type: none"> ■活発な子どもとの空間を区切り、落ち着いた雰囲気の中で授乳やおむつ替えが行えるようにする。 ■寝ているときの姿勢や体の動きを気を付けて見る。 ★特定の保育教諭(保育士)等を中心に授乳やおむつ交換の対応を優しく行い、信頼関係を築いていく。 ★常に健康状態を確認し、通常の状態をしっかり把握することで、異常に早く気付く。 ★目の動きや声に、目を合わせてタイミングよく声を掛け応答していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■寝返りしても危険がないよう、周囲の寝具の状態や安全なスペースを確保する。 ■心地よい風や木陰による柔らかな日差しを肌で感じられるよう、安心できる空間を用意する。 ★発達にあった玩具を用意し、安全に使えるよう、消毒や点検を毎日行う。 ★特定の保育教諭(保育士)等を中心に、やさしく語り掛けたり触れ合うことで信頼関係を築いていけるよう、丁寧に関わる。 ★発した喃語にやさしく応答したり、声を掛けることで安心できる存在が見つかるようにする。 	■環境構成★援助	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭(保育士)等のやさしい見守りの中、少しずつ周りの様子に気付き、関わろうとする気持ちももてるようにする。 ■安心できる空間の中、好みの遊びや玩具を提供し、十分に遊びを楽しめるようにする。 ★特定の保育教諭(保育士)等が抱き、安心したうえで、周囲に目が向き、生活する空間を十分に確認、把握できるようにする。 ★1対1で絵本を読むことやふれあい遊びを多く取り入れて、楽しい時間が少しずつ増えるようにする。 ★好みの玩具で安心して遊べるよう、静かな環境を用意する。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭での授乳時間や状態を把握し、ミルクの量や水分補給のタイミングを見計らう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な摂取量を確保するため、個人に合わせた授乳間隔や好みのミルクの温度を把握する。 	食育	<ul style="list-style-type: none"> ●離乳食の段階を把握し、保育教諭(保育士)等の膝上や椅子を使用し、安心して食事に向かえるようにする。
保育に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ●水分補給量等を安定して供給できず、慣れるまでに時間がかかった。保護者とこまめに連絡を取り、保護者の心の負担を軽減していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●喃語や欲求にやさしく応答することで、安心して表情が見られ、安定して過ごすことができた。寝返りを誘うことで、より動きが活発になった。 	保育に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ●抱っこやおんぶで保育教諭(保育士)等と行動をともにすることで安定へとつながった。表情がまだ硬いので引き続き関わり、安心できる環境を整えていく。
				<h3 style="text-align: center;">子育ての支援(保護者支援)</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●一日の様子や保護者と離れているときの出来事等を伝え、安心できるようにする。 ●保護者の思いを受け止めながら、連携を取り、無理なく過ごせるようにする。 ●授乳の様子や寝かせ方など細かく聞き取り、家庭と園の生活がスムーズにつながるようにする。
				<h3 style="text-align: center;">園行事及び園事業</h3> <p>入園式／新入園児説明会／新入園児慣らし保育開始／身体測定／避難訓練／誕生会</p>

認定こども園〇〇〇園(保育所共通) 月間指導計画 1歳児4月

【健】…健康 【人】…人間関係 【環】…環境 【言】…言葉 【表】…表現

月初めの園児の姿	<p>【健】自分で食べることが上手になってきている。排泄の成功も見られ、着脱も自分でしようとする。</p> <p>【人】保育教諭(保育士)等と歌やリズム遊びを楽しむ。</p> <p>【環】身の回りを探索する様子がみられる。</p> <p>【言】気に入った絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</p> <p>【表】音楽に合わせて体を動かしたり、製作に興味を持つ。</p>
月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の子どもが生活リズムに徐々に慣れていく。 ●子どもたちは保育教諭(保育士)等に思いを受け入れてもらい、安心して過ごす。 ●子どもたちは保育教諭(保育士)等と十分に触れ合いながら、安心して好きな遊びを楽しむようになる。

配慮すべき事項	子育ての支援(保護者支援)	園行事及び園事業
<ul style="list-style-type: none"> ●担当保育者が替わるので、子どもの発達状況や対応の仕方について情報伝達を十分に行う。 ●探索活動が安全に十分できるよう、環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登降園時や家庭訪問等でのやりとりを通じ保護者との意思疎通を大事にし、不安や疑問を話しやすい信頼関係をつくる。 ●子どもの園での様子や家庭での様子を伝え合うような相互のやりとりを大事にする。 	入園式／進級式／見知り遠足／健康診断

週	1週	2週	3週	4週
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境や保育教諭(保育士)等に慣れて、安心して過ごすことができる。 ●保育教諭(保育士)等と十分触れ合うことで、遊びが好きになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな遊びを十分に楽しむ。 ●生活の流れが分かり、援助されながら落ち着いて過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌を歌ったり、体を動かすことを楽しむ。 ●自分の欲求を身振りや言葉で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●戸外に出掛け、春の自然を感じて遊ぶ。 ●保育教諭(保育士)等や友達と一緒に活動することを楽しむ。
■養護(生命の保持・情緒の安定) ★教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)	<p>■保育教諭(保育士)等に関わりながらゆっくりした時間を過ごす。</p> <p>■抱っこやさまざまなボディタッチなどでスキンシップをとり、安心感をもつ。</p> <p>★食事・睡眠の場所で落ち着いて食べたり、安心して入眠したりする。</p> <p>★快適な環境の中で、安心して過ごす。</p> <p>★保育教諭(保育士)等に絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</p> <p>★わらべうたで膝にのせてもらったり、抱っこされたりして安心して遊ぶ。</p>	<p>■落ち着いた雰囲気の中で、保育教諭(保育士)等と一緒に過ごす。</p> <p>■保育教諭(保育士)等に自分の思いを受け止められ共感されることで、安心して過ごすことができる。</p> <p>■安全な環境の中で安心して活動できる。</p> <p>★保育教諭(保育士)等や友達の動きに興味をもつ。</p> <p>★自分の欲しいもの、場所、その他の要求を指差しや片言で伝える。</p> <p>★好きな遊具に関心をもって触れ、遊びを楽しむ。</p>	<p>■子どもの様子を常に把握し、欲求に対応できるようにする。</p> <p>■気持ちが不安定なときに温かく守られ、気分が晴れやかになり安心感をもてるようになる。</p> <p>★保育教諭(保育士)等の歌に合わせて喜んで歌う。</p> <p>★シール貼りを保育教諭(保育士)等と一緒にする。</p> <p>★保育教諭(保育士)等や友達の名前を覚え、親しみを持つ。</p> <p>★自分の思いを身振りや言葉で伝えようとする。</p>	<p>■気持ちいい日差しや空気を感じて遊ぶことができる。</p> <p>■汗をかいたら保育教諭(保育士)等にやさしく着替えをしてもらい快適に過ごすことができる。</p> <p>★外遊びを喜び、周りのものに興味をもつ。</p> <p>★保育教諭(保育士)等の仲立ちによって、友達との関わりを広げる。</p> <p>★外の様子や葉っぱや草などを見て楽しむ。</p> <p>★絵本や図鑑を指差しながら見て楽しむ。</p> <p>★感じたことを保育教諭(保育士)等に言葉を使って伝えようとする。</p>
■環境構成 ★援助	<p>■視覚的な環境を工夫することで温かい雰囲気をつくる。</p> <p>■室内や遊具、玩具等は常に清潔を心掛け、危険がないよう配慮する。</p> <p>★子どもの発達状況や生活の様子などを観察し、個々に合わせた対応をする。</p> <p>★一人一人の気持ちをしっかり受け止め、信頼関係を築き、安心して生活ができるようにする。</p> <p>★子どもたちが部屋の飾りや屋外の季節などに興味をもてるように声掛けなどを行う。</p>	<p>■発達状況に応じた指先を使うような遊具等を準備する。</p> <p>■戸外での活動に季節を感じることができるスポットを用意する。</p> <p>★遊具等の数量を十分に用意する。</p> <p>★子どもの遊んでいる様子に合わせて援助したり、一緒に遊んだりして楽しさが味わえるようにする。</p> <p>★目を離さず見守り、けがや事故がないようにする。</p>	<p>■子どもの様子を常に把握しながら、遊びを見守ることができるように遊具等を配置する。</p> <p>■落ち着いた雰囲気や遊びができるような気温、湿度や照度等を設定する。</p> <p>■休息するスペースをつくっておく。</p> <p>★子どもたちが安心できるような声掛けや表情で接する。</p> <p>★保育教諭(保育士)等や友達の楽しんでいる様子に関心をもてるように声掛けをする。</p> <p>★言葉や身振りを楽しみ、嬉しく感じるような応答的な関わりを心掛ける。</p>	<p>■室内にも春が感じられるよう環境設定をする。</p> <p>■探索活動に支障が出ないよう、興味をもてる遊具や飾り付けを行う。</p> <p>★子どもたちの発見や気づきに共感し、言葉掛けをする。</p> <p>★手洗いうがいをやってみせ、興味をもって取り組むようにする。</p> <p>★思いがうまく伝えられなかったときは、気持ちを代弁して、気持ちを受け入れる。</p>
保育に対する自己評価	<p>●前年度からの引き継ぎがしっかりとできていたので、子どもたちの理解に役立った。なるべく早く子どもたちの生活リズムなどの把握に努めたい。保護者とのやりとりは順調に進んでいる。</p>	<p>●子どもたちの興味のある遊びを準備したことで、新しい環境に次第に慣れ、保育教諭(保育士)等との関わりにも信頼関係ができてきた。</p>	<p>●保育教諭(保育士)等の関わりによって、歌遊びや言葉遊びなど興味をもった遊びをしっかりと楽しむことができた。いろいろなコーナーでも楽しく遊ぶことができた。</p>	<p>●生活習慣に積極的に関わろうとする意欲を十分に引き出せなかった。少しずつでも意欲をもてるよう、環境を工夫する必要がある。</p>

認定こども園〇〇〇園 月間指導計画 2歳児4月

<p>月初めの園児の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●進級したことを喜びが、新しい保育室や保育教諭等に戸惑いを見せる子もいる。 ●身の回りのことをしようとするが、手助けが必要な子もいる。 ●前年度に親しんだ玩具や遊びを続けて遊ぼうとする。 ●友達の名前を呼んだり、そばで遊んだりする。 	<p>配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急連絡先やアレルギーの有無、健康状態など知らせてもらい、適切な対応ができるようにする。 ●園での遊びやそのねらい、生活の様子などを発信することで、園の活動に理解と協力を得られるようにする。 ●それぞれの家庭環境の違いに配慮し、保護者の思いに寄り添いながら、園児の育ちを見通した関わりを共有していく。 	<p>子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●送迎時や連絡帳を利用して、進級後の保護者の不安や疑問に答えていくことで信頼関係を築いていく。 ●食事や排泄の様子を共有し、家庭と園とで共通して園児に対応できるようにする。 	<p>園行事及び園事業</p> <p>入園進級式／乗り物ごっこ (交通安全指導)／避難訓練 ／誕生会／身体測定</p>
<p>月のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ●不安な気持ちを保育教諭等に受け止めてもらいながら、好きな遊びを楽しむ。 ●身近な春の自然に触れながら、戸外でのびのびと体を動かす。 			

週	1週	2週	3週	4週
<p>週のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ●新しい生活の仕方を保育教諭等と一緒にしながら慣れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●戸外遊びで体を動かして開放感を味わう。 ●生活の流れを知り、進んで関わろうとする。 ●好きな遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムが安定し、次の活動に見通しをもって安心して生活する。 ●散歩や戸外遊びで身近な春の自然に触れる。 ●行事に参加して、楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●季節感のある遊びを楽しむ。 ●戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。 ●様々な約束事に興味をもち、少しずつ身に付けていく。 ●生活に必要な挨拶に親しむ。
<p>教育時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな遊びや場所を見つけて遊ぶ。 ●保育教諭等に手伝ってもらいながら、持ち物の始末や食事の仕方を知る。 ●園内探検をして、周りの環境に関心をもつ。 ●入園進級式に参加して、お遊戯や歌を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練に参加して、身の守り方を知る。 ●季節の歌を歌ったり、手遊びを楽しむ。 ●友達や保育教諭等と一緒に園庭で遊ぶ。 ●身体測定をして、大きくなることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●乗り物ごっこに参加して交通ルールを知る。 ●誕生会に参加して友達を祝ったり、人形劇などを楽しむ。 ●クレヨンで絵を描く。 ●アリやダンゴムシを見つけて友達に見せたり喜んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●畑にジャガイモを植え、生長を楽しみにする。 ●折り紙を使ってこいのぼりの製作をして飾る。 ●春の暖かさに触れながら戸外で体を動かして遊ぶ。 ●公園で花見を楽しむ。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ロッカーや靴箱に個人のマークシールを貼るなどして自分の場所が分かるようにし、自分で片付けられるようにする。 ■安心して生活できるようにゆったりとした生活リズムをつくる。 ★好きな遊びを楽しむ中で、保育教諭等や友達と関わりをもてるように関わっていく。 ★個人差に配慮し、一人一人の様子に応じて生活の仕方を丁寧に伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■火災の際の避難の仕方や誘導方法など計画する。 ■園児の興味や発達に合った玩具を用意する。 ★園庭で遊ぶ際には、安全な遊び方について分かりやすく知らせるとともに見守り、怪我や事故防止に努める。 ★子どもの気付きや発見に優しく関わり、言葉にして気持ちを共有しながら満足感をもてるようにする。 ★身長体重を計測しながら、一人一人が大きくなっていることを知らせて、成長に関心をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園の行事は2歳児が関心をもてる時間に配慮し、参加の仕方を考慮する。 ■花や虫など自然に関する絵本や紙芝居を読んで親しみをもてるようにする。 ★園生活に慣れ活発に行動するようになるので、危険のないよう安全に配慮する。 ★虫を怖がる子もいるので、無理に近づいたり触ったりさせず、関心をもてるようにする。 ★クレヨンなどは扱い方を知らせ、大切に使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■こいのぼりが泳いでいる姿だけでなく降ろして近くで見ても実感したり、おなかの中をくぐったりして親しみをもてるようにする。 ■散歩で見つけたものを園に持ち帰れるように袋など用意し、友達や家族への話題につなげるような配慮をする。 ★子どもの発見に共感したり言葉を補ったりしながら、友達と経験を共有し、関わりが深まるような仲立ちをする。 ★製作の仕方とともに用具の使い方や持ち方を併せて知らせる。 ★畑に年長児と一緒にジャガイモ植えをし、時々見に行ったり水やりをしたりし、継続して観察していく。
<p>教育時間を除いた時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しい雰囲気の中で食事をする。 ●異年齢児と関わりながら、一緒に遊ぶ。 ●新しい保育室で保育教諭等にそばについてもらって安心して午睡する。 ●名前を呼ばれたらハイと返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の援助により、トイレに行き座ってみる。 ●上着を一人で脱いだり、ロッカーに掛けたりする。 ●スプーンを正しく持って食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●こいのぼりを見て楽しんだり、歌を歌ったりする。 ●手洗い場の使い方が分かり、促されて並んだり手洗いをしたりする。 ●気温差や活動に合わせて、手伝ってもらいながら衣服の調節をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●祝祭日の意味を2歳児なりに知る。 ●生活の中で安全な遊び方を覚えていく。 ●気の合う友達や保育教諭等と一緒に遊ぶ ●促されて食事の挨拶やお客様への挨拶などを覚える。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ゆったりした音楽を流し、保育教諭等がそばについて安心して入眠できるようにする。 ★スキンシップをとったり笑顔で話し掛けたりして、安心感をもてるように関わる。 ★前担任との引継ぎをして、園児の遊びの好みや性格などを把握し、親しみをもって対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭と排泄の様子について情報を交換し、発達の様子に応じてトイレに誘い、できたらたくさん褒めて自信をもてるようにしていく。 ■子どもの活動や行動に応じて保育教諭等間での援助、役割を適切に分担し、円滑に保育が行えるようにする。 ★身の回りのことをしようとしている園児を温かく見守り、うまくできないところはさりげなく手伝って、意欲につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■手洗い場に並ぶ位置にテープなどで印をつけ、順番に水道を使えるようにする。 ★外に行くときの身支度や靴の片付けなどの一連の支度を一つ一つ保育教諭等と一緒にやり、自分でできるように知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園行事や祝祭日の由来や意味を2歳児に分かりやすく知らせ、社会への関心をもてるようにする。 ■目を合わせて保育教諭等から笑顔で挨拶することで、園児も自然に挨拶ができるようにしていく。 ★危険な場所は保育教諭等間で共有し、事故や怪我につながるないように配慮しつつ、気を付けるように声掛けする。
<p>教育・保育に対する自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新園児の不安とともに進級児の戸惑いにも丁寧に関わり気持ちを受け入れることで、少しずつ保育教諭等に安心感を持つようになった。新しい生活の仕方は、徐々に慣れていくように声掛けをしなが引き続き知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の使っている玩具や場所に強くこだわりをもつ子への対応が十分ではなかったことで、トラブルが見られた。事前の声掛けや遊びの進め方にも配慮すべきだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園児が十分に遊びを楽しめるように一人一人の興味のある遊びを準備した。遊びが見つからない子や不安そうしている子には保育教諭等が声をかけ、誘いかけることで少しずつ自分で遊びを見つけるようになった。引き続き遊びの楽しさが味わえるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●春の自然を感じられるような活動を取り入れることで、自然に興味を持ち友達との関わりや会話も増えていった。暖かくなってトイレでの排泄を嫌がらずに行く子が増えたので、意欲を大切にトイレに誘っていきたい。